



イラク復興支援群活動報告

18.6.10

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

③ サマーワ主力

○ 人員・武器・装具異状なし

○ 整備態勢：[REDACTED]

◆ 医療

一外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・ 学校の改修：

一2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業

・ 道路の改修：

一アイメン・スライバート道(サマーワ)施工状況確認

別紙「アイメン・スライバート道施工状況確認」

一3カ所(サマーワ×3)での役務作業

・ PHCの改修：

一4カ所(サマーワ×4)での役務作業

・ 給水関連施設の改修：

一8カ所(サマーワ×2、ヒドル、ワルカ×2、ルメイサ×2、ルメイサ〜サマーワ間)での役務作業

・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：

一2カ所(サマーワ、ヒドル)での役務作業

・ 燃料関連施設の改修：

一1カ所(サマーワ)での役務作業

○ 宿営地関連施設の整備

・ 宿営地敷水

・ ゴミ回収

・ 尿尿汲み取り

・ 環境維持作業

・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス

・ コンテナ整理

・ #3ゲート停弾堤新設工事

○ 6月10日現在の雇用人員

計414名(累計：473,065名)※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

・ 豪軍との共同訓練を実施(宿営地)

・ MNF-I [REDACTED] サマーワ宿営地を来訪

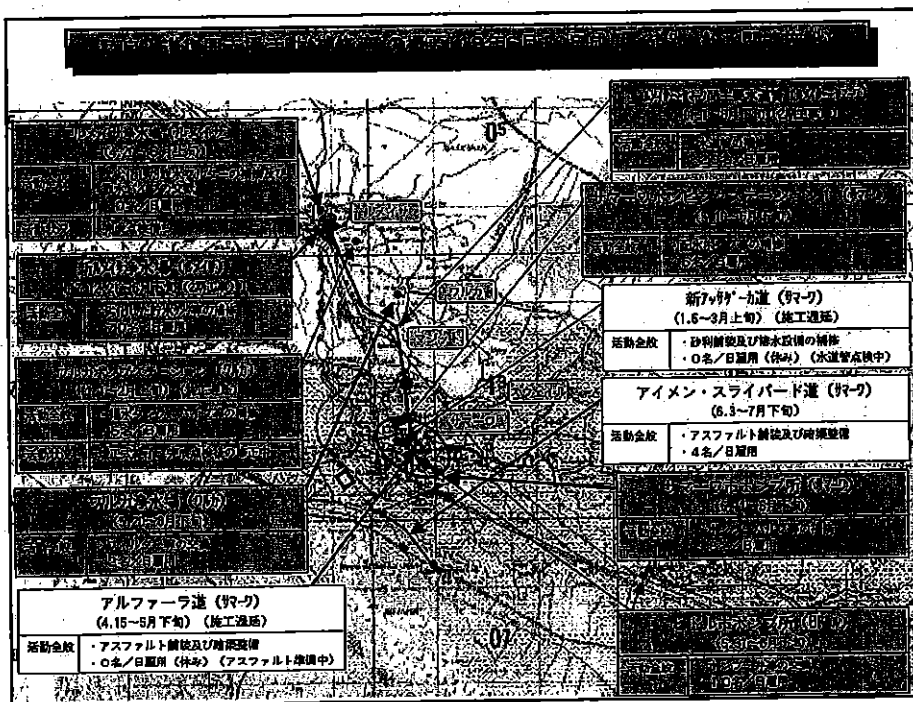
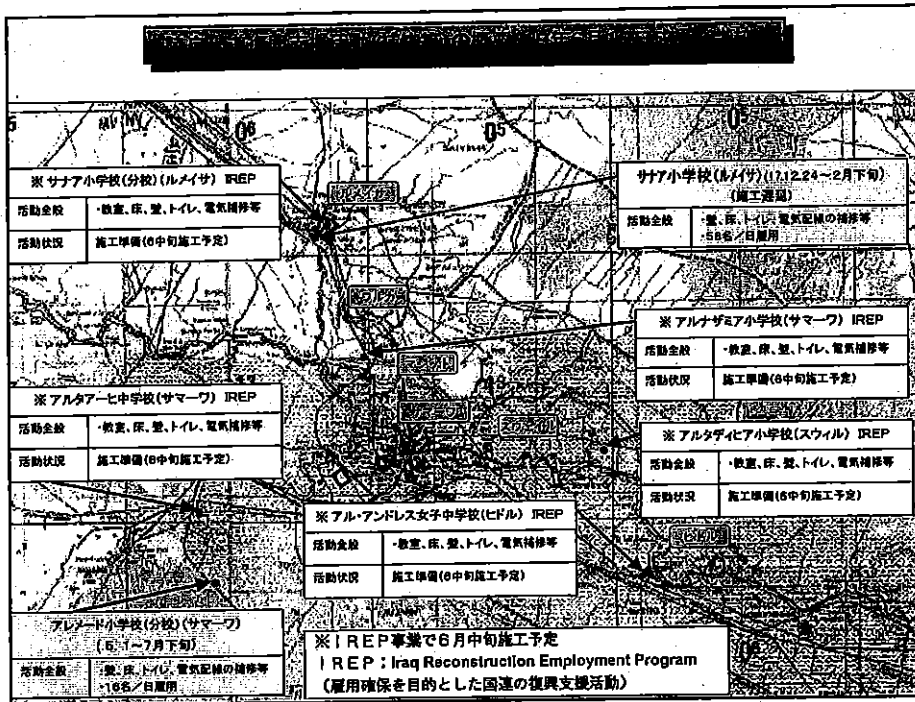
別紙「MNF-I [REDACTED] サマーワ宿営地来訪」

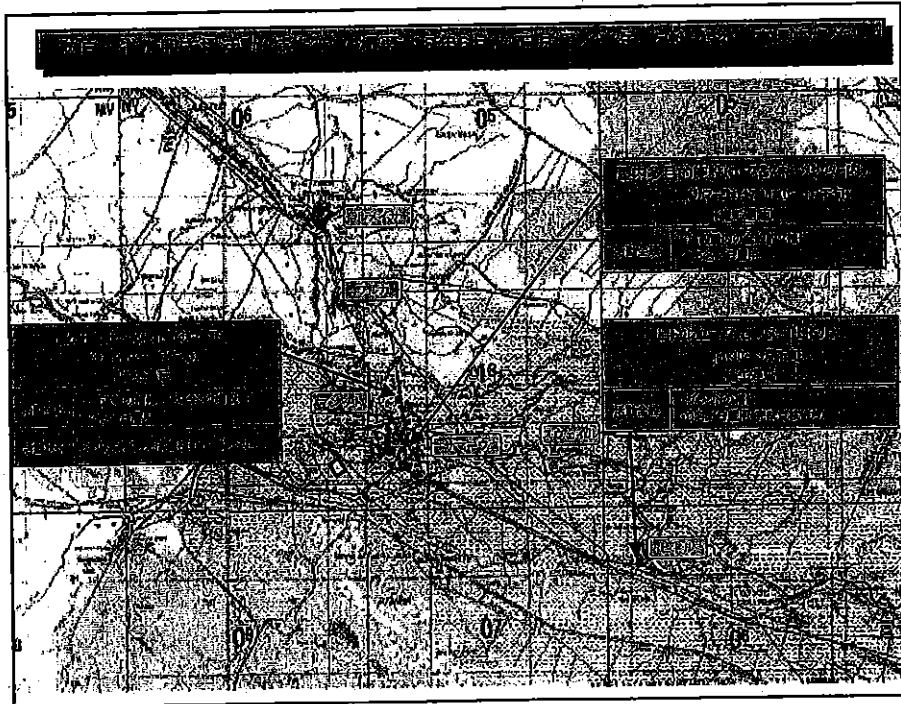
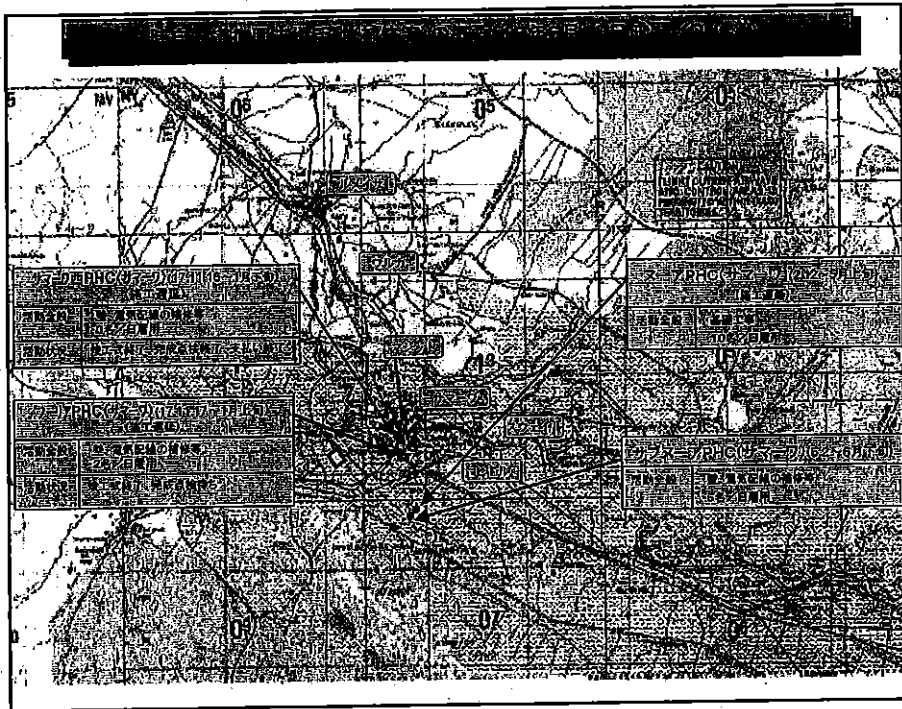
・ 供与RO浄水機により給水率延べ23両に対し約292t(約64,889人分)が配水された。
6月10日まで計約74,612t(約16,580,444人分)配水(4.5ℓ/人・日換算)

<ul style="list-style-type: none"> ● クウェート分運班 <ul style="list-style-type: none"> ・立ち入り申請 ・ナビスタ国境通過支援 ・本邦後送品後送準備 ・CFLCC調整 ・演習場調整会議 ● バクダッドLO <ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整及び情報収集 ● バスラLO <ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応及び定例情報収集 ・定例会議出席 ● スミッティLO <ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応等 ・各種業務調整等 ・各種ミーティング等 ● クウェート大使館LO <ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整及び情報収集

別表

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	17	232	414
	学校修復	74		
	道路補修	4		
	青年・スポーツ・女性	15		
	給水関連	120		
	燃料	2		
宿営地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
調査員	8			
耐震性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			





上段:増人員数 下段:減人員数		人員現況																【備考】 数値の変化及び 増減人員の状況
区分	所属人員	サマワ		クウェート		パグダット		バスラ		キャンプVA		タリル		出陣人員(増上)		国内		
		増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	
10次要員	481	0	481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10次要員 派遣隊	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
重要要員 6次要員	109	0	74	0	25	0	24	5	0	5	4	1	0	1	0	0	0	
重要要員 文書要員	18	0	12	0	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(SM)
合計	618	0	577	0	31	0	30	5	0	4	1	0	1	0	0	0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 46名 329分(10次要員電話合計:0名、FOMA合計:539名)

		装備の現況(車両等)																		
項目		車 両															計			
		小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイク口	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型	特大		浄水セット	重レッカ	溶接車
IQ	サマワ	12	10	2	51	19	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	177
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル																			
	パグダット																			
	計	12	10	2	51	20	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	178
KW	キャンプVA	2			10	1	1	2	1		1	1	2	14	1	1				38
	キャンプアラブ																			
	計	2			10	1	1	2	1		1	1	2	14	1	1				38
	総計	14	10	2	61	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	216

装備の現況 (武器)

項 目	武 器							
	拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃	
I Q	サーフ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリフジャン							
	計							
総 計								

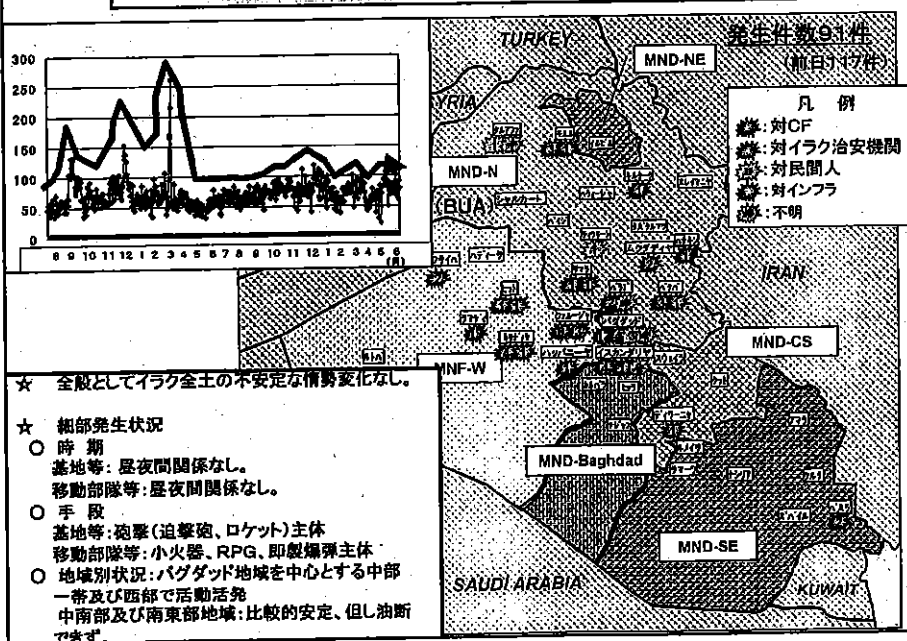
装備品等の可動・不可動の状況①

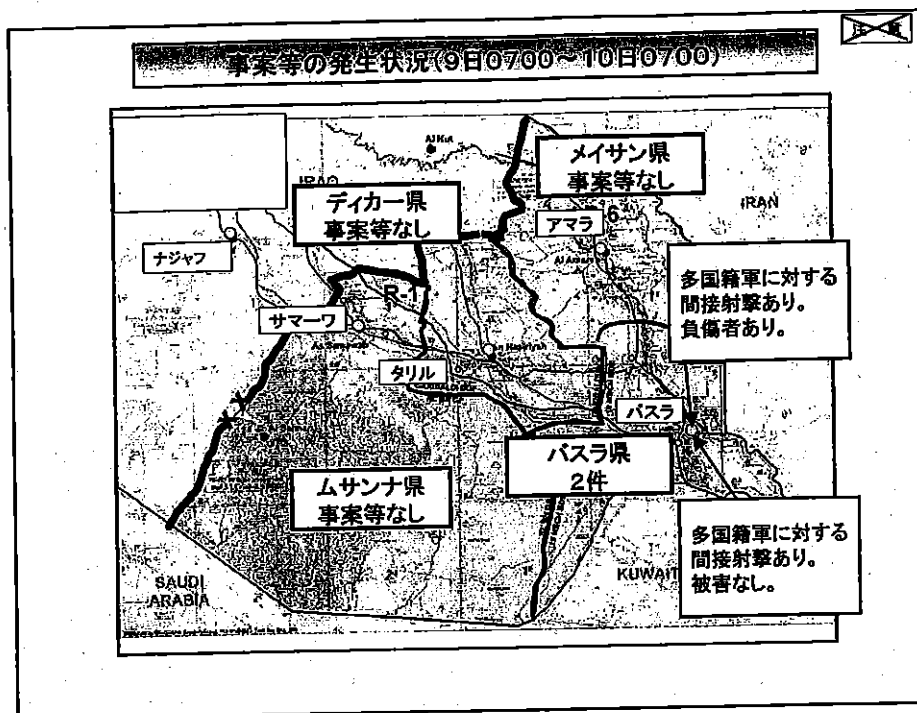
項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	216	214	1	1	冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	部品待×1
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	6	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	0	1		
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	20	25	60	レギュレータ等不良×20 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×1	部品待×25
発動発電機(25kw)	67	39	11	17	ガバナ等不良×10 ノズル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	59	48	4	7	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1 ファン不良×1	部品待×4
発動発電機(180kw)	17	15	2	0	ガスケット損傷×1 エンジン不調×1	部品待×2
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良×1	後送待×1

装備品等の可動・不可動の状況②

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考	
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							

事案等の発生状況(9日0700~10日0700)





金曜礼拝(6.9)ー1

【アル・グレイブ・モスク】
 ○説法者:モサウイ師(約1000名)
 ○説法内容
 ●ザルカウイの死を歓迎する。
 ●イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について
 ○ザルガニ師は、礼拝には参加したものの説法は認められなかった。

【アル・マフデイ・モスク】
 ○説法者:ザーメリ師(約200名)
 ○説法内容
 ●サマーワ市内のデモにおいて、何故イラク陸軍及びイラク警察は市民を撃ったのか。
 ●給食、給水、雇用状況が非常に悪い。県知事や評議会は問題を全く解決しようとしてない。
 ●ザルカウイは死亡したが、まだ多くのテロリストがおり、引き続き攻撃する必要がある。
 ●治安関係閣僚が決定されたが、イラク陸軍やイラク警察を強くしてイラクを安定させてもらいたい。
 ●イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について

【アル・サマーワ・モスク】
 ○説法者:アワディ師(約500名)
 ○説法内容
 ●マーリキー首相は、強いイラク政府を樹立し、速やかにテロリストを壊滅しなければならない。
 ●電気や燃料状況の速やかな改善を要求する。

金曜礼拝—2

【マムラハ・モスク】

○説法者:フセイン・ハル師(約80名)

○説法内容等

- テロリストのザルカウイの殺害を歓迎し、イラク軍に感謝する。
- イラク政府は、速やかにテロリストを壊滅し、強いイラクを作る必要がある。
- 治安関係の3閣僚が決定したので、多国籍軍に頼ることなく、イラク軍のみで自国を守れ。

【アル・メディーナ・モスク】

○説法者:ワイリ師、アドナン師(約1000名)

○説法内容(ワイリ師)

- サーディック・サドル師の実施した説法について
- 治安関係閣僚は決定したが、これだけでは国内のテロの問題は解決しない。
- ザルカウイの殺害により、他のテロリストの殺害・逮捕が容易になる。
- サマーワ市で6月4日に行われてたデモにおいて逮捕された者の釈放を、県治安最高責任者に要求した。

○説法内容(アドナン師)

- ザルカウイは殺害したが、イラク国内にはザルカウイと同様のテロリストがまだ多くいるので、多国籍軍の駐留は続くであろう。
- 6月4日のデモにおいて市民とイラク警察とに怪我人がでたことは遺憾である。治安が安定し、問題が発生しないことを望む。
- 治安関係閣僚が決定したことを歓迎する。我々は政府を支持する。
- イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について

金曜礼拝—3

【ムルタバ・モスク】

○説法者:アサディー師(約300名)

○説法内容

- ザルカウイは米軍の攻撃により死亡したが、まだ多くのテロリストがおり、引き続き攻撃する必要がある。
- 県知事及び評議会に対して、給電、給水、雇用状況の改善を求める。
- 治安関係閣僚が決定されたが、イラクを強くし、様々な問題を解決してもらいたい。その後、多国籍軍には立ち去ってもらいたい。
- イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について

【ラスール・モスク】

○説法者:ギジ師(約70名)

○説法内容

- ザルカウイの死亡について
- イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について

【ヒドルサドル派事務所】

○説法者:ラザック(約80名 サドル派構成員のみ)

○説法内容

- ザルカウイの死亡について
- 英軍によるヒドル市民の逮捕に関して、我々は釈放を要求する。
- ヒドルサドル派事務所においてサドル派が別個に礼拝を実施するのは異例なことである。

金曜礼拝—4

【ファータマ・アッザハラ・モスク】

○説法者：ムハンマド師(約100名)

○説法内容

- ザルカウイは死亡したが、多国籍軍はさらにテロリストを攻撃してもらいたい。
- 治安関係閣僚が決定されたが、イラクを強くし、様々の問題を解決してもらいたい。
- イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について

【アル・ハッジャ・ムンタバル・モスク】

○説法者：アワブ師(約200名)

○説法内容

- ザルカウイは死亡したが、まだ多くのテロリストがおり、問題は解決されていない。
- 国防大臣は、テロリストが多数いるファルージャを攻撃してほしい。
- イスラム教、ファータマ・アッザハラ(預言者ムハンマドの娘、初代イマーム アリの妻)について

【アル・ジャシール・モスク】

○説法者：カファジェイ師(約100名)

○説法内容

- 預言者ムハンマドの娘(ファータマ・アッザハラ)について
- ザルカウイ死亡関連の発言は認められなかった。

金曜礼拝—5

- 日本関係の発言は確認されなかった。
- 6月8日に選出された治安関係閣僚にのみでは肯定的な評価が中心であり、サマーワ月初のサドル派の動向からは、サドル派として今回の選出を受け入れていると見ることが出来る。
- ザルカウイの死について、シーア派として肯定的に受け止めていることが金曜礼拝を通じても確認できた。
- 引き続き、電力、水等に関する要望もなされており、今後ともこの問題をめぐって争いが生起する可能性は否定できない。
- モトドクにおいてサドル派事務所及びサドル派民兵が別荘に礼拝を行ったことは、同事務所の影響力の強さを示すものである。英軍への反発も表明されており、引き続きモトドク(の活動)には注意を払う必要がある。



イラク全土の全般情勢評価(6. 10)		
(6月10日変更)		
区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 ●シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 	8/26追加 8/8追加 6/8修正
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク移行政権)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサー・スンナとザルカウィGpの共闘が変化する可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が変化する可能性 ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 	6/8修正 6/8修正
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル市民民兵の再構築を企図 	6/8修正
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引) 	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価(6.10)		
(6月10日変更)		
区分	内容	備考
全般	●比較的安定だが、多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃が発生	5/6修正
	●バスラ県、メイサン県に所在した簡易爆弾技能者がディカー県に流入し、活動している可能性。さらにこの一部がムサンナ県にも流入した可能性	5/12修正
全般	●バスラ県、メイサン県、ディカー県に加えてムサンナ県においても簡易爆弾による攻撃が発生	5/12修正
	●バスラの不安定な治安情勢は継続する可能性 ・シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・多国籍師団(南東部)等が継続する治安維持作戦に対する反発から、簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性	6/8修正
スンニ過激派 国際テロリスト	●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続	
サドル派	●サドル派中央の意向に従わない一部の勢力が存在	6/8修正
	●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性	1/14追加
MSR/ASR	●簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生	6/8修正
タリルAB	●経路上のIEDや小火器射撃等、航空基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃の可能性	8/30追加

ムサンナ県の全般情勢評価(6.10)-1		
(6月8日以降変更なし)		
区分	内容	備考
全般	●比較的安定、しかしながら油断は出来ず	6/8修正
	●イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。	5/12追加
全般	●簡易爆弾技能者が流入したおそれがあり、今後、爆発成形爆弾等の高性能な簡易爆弾を使用した攻撃が行われる可能性	5/12追加
	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	●宿营地警備等の雇用の増大、復興支援活動の誘致を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	2/20修正
デモ関連	●5月以降の電力事情の悪化が、高値で推移する燃料代や気温の上昇と相俟って、デモや暴動が引き続き生起する可能性	6/8修正

ムサンナ県の全般情勢評価(6.10)-2

(6月10日変更)

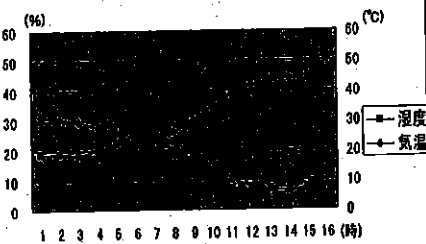
区分	内容	備考
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 (サドル派民兵が支持獲得のため反多国籍軍姿勢を強める可能性) ● サドル派民兵はわかえりが宿営地に対する間接射撃等による攻撃を行う可能性 ● 県統合オペレーション・センター及び同周辺での活動、'Cooperative Zone'への立入及び周辺部での活動に関連して、英豪軍及び日本隊等に対するRPGを含む直射火器や簡易爆弾による攻撃が行われる可能性 ● 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊の抗争に関連して、ナジャフのサドル事務所中央は、サマーフサドル事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性 	1/14追加 6/8修正 6/8修正 6/4修正

現地の気象情報

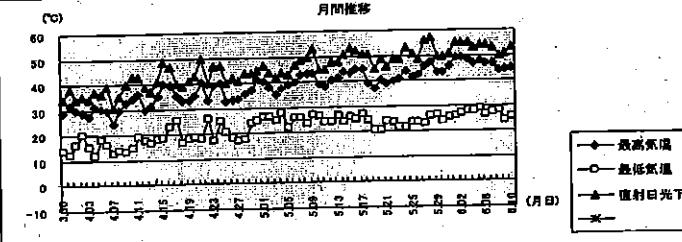
報告内容

明日の日の出 : 0553(サマータイム)
 明日の日の入 : 2004
 明日の月齢 : 15.1
 明日の月出没 : (出11日2008~没12日0506)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高45.1℃最低26.4℃
 : 最高53℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 16.3%
 本日の風速 : NW2~3m/s

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



コール	行動名	時 程	活 動 内 容 等・(場所)	車 両
J1	隊長の行動	0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 0915	13日J任務終了等について(仰指)	
		1000 1100	指揮委員会(1日作業)	
		1100 1430	宿営地内勤務	
		1430 1500	群本部事務会(応接コンテナ)	
		1500 1515	活動命令(案)について(仰指)	
		1515 1600	12日行動証明について(仰指)	
		1605 1635	作業会議	

コール	行動名	時 程	活 動 内 容 等・(場所)	車 両
J2	業務支援隊長の行動 J2: 渠知事訪問	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0830 0900	PJ	
		0900 1320	宿営地内勤務	
		別 示	宿営地 発 渠 行 着 (サマーワ) 渠 行 発 (サマーワ) 宿営地 着	LAV(G)×4 LAV(GJ)×1
		1605 1635	作業会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所)	車両
J7	施設支援(ワルカポンプステーション補修、ワルカ浄水場改修工事)	別示	宿营地 発 ワルカ浄水場 着(ワルカ) ワルカ浄水場 発(ワルカ) ワルカポンプステーション 着(ワルカ) ワルカポンプステーション 発(ワルカ) 宿营地 着	LAV(G)×4 LAV(GJ)×2 HMV(E)×1
J10	情報収集			
J201	GRF (A)			

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所)	車両
J202	GRF (B)			
S6☆	役務要員配置	11日 1130~ 1930~ 12日 0530~	宿营地~運河警戒位置~宿营地	
S11☆	警 衛		警 衛	
S12☆	浄水活動(運河)	0730~1000	大気送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1

コール	行動名	時程	活動内容等・【場所】	車 両
S13a	宿舎地内工事、作業	0830~1600	宿舎地散水	
S13b		0830~1600	ゴミ回収	
S13c		0830~1600	屎尿汲み取り	
S13d		0900~1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0900~1600	コンテナ整理 (Tレックス)	
S13f		0830~1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13g★		0900~1500	第3ゲート停泊場新設工事	バジェロ(E)×1 LAV(E)×1 中型(E)×1 中型ドーザ(E)×1 油圧(E)×1
S15	隊主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿舎地内活動	
S16	空中監視活動	11日0830 ~ 12日0830	空中監視活動	

クウェート分遣班	バックアップLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプバーズニアにおける業務調整 ・物品管理 ・本邦後送品後送準備 ・コンボイ準備及びナビスタ国境通過支援 ・CFLCC調整 ・業者調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

[Redacted]

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
- 自衛隊の撤収に関し色々報道されているが、報道に惑わされず淡々と任務を実施せよ。

[Redacted]

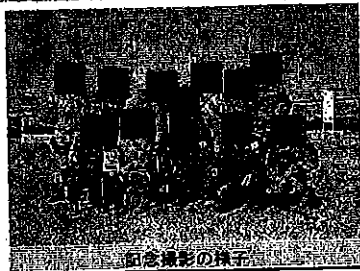
- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
- 明日は、5月31日の爆発音事案、6月4日のサマーワ市でのデモ以来初めてサマーワ市内に入るの、情報収集、通信の確保及びバックアップ態勢の確保をしっかりと実施せよ。

別紙

アイヌスライハート道施工状況確認



MNF-1 [Redacted] 正副官長、サマーワ宿営地来訪



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	MNF-1 CSM [REDACTED] サマーワ訪問(9日、10日)

別紙第1

6月10日付JAM情報最新版(仮訳)

評価: [REDACTED]

[REDACTED]
JAM Update: 10 June

[REDACTED]	[REDACTED]
------------	------------

Assessment: [REDACTED]

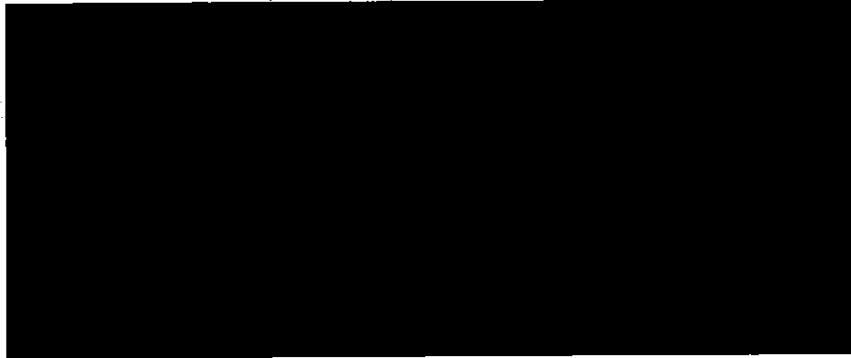
別紙第2

[REDACTED] 最近の状況(仮訳)

[REDACTED]

[REDACTED]

CURRENT SITUATION



バグダッド 日誌 (6月10日)

○ワールド・カップ・サッカー開幕！！

昨日サッカー・ワールド・カップが開催した。日本隊コンテナに設置してあるテレビはJSTVという衛星放送と契約しており、日本の番組を見ることができる。しかしながら、残念なことに放映権の関係でサッカー・ワールド・カップを見ることは出来ない。

バグダッドで勤務してから大きなスポーツの祭典が実施された。トリノ五輪、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が実施され、これらのいずれも映像で見ることができなかった。インターネットで女子フィギアのゴールド・メダリスト荒川静香選手が得意とするイナバウアーという技を写真で見ることができるが、映像では未だ見ることは出来ず「そっくり返って」滑るのか？と想像を巡らせている。

トリノ五輪・WBCの時には、JSTVのスポーツ・ニュースが放映されると、テレビ画面が「コピー・ライトの関係で映像をお送りできません。」と表示され、音声だけ聞こえてくる。まさに「蛇の生殺し」状態であった。今回のサッカー・ワールド・カップの約1ヶ月間も同様にストレスの溜まる放送になると感じている。

ところでMND(SE)英軍LOに、「サッカー・ワールド・カップが観られなくて大変だね。」と話しかけると、本国から衛星放送レコーダーを急遽取り寄せ観戦できる態勢を整えたそうで、さすがフットボール発祥の地であり、これを見逃す訳にはいかないようだ。

我々は日本に帰ってから結果の分かったビデオ映像を安心して楽しみたいと、その日を心待ちにしている。なにはともあれ、バグダッドの地から「サムライ・ブルー」の活躍を祈念している。

「頑張れ！ニッポン！」



バスラLO日々業務報告(6月10日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9 認識統一会議
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況



バスラ日誌 (6月10日)

- 1 タ方の電話会議を聞いている方には、ここ数日会議を仕切る [] の懐かしい声が聞こえていることと思う。 [] 幕僚長が留守の間、幕僚長の代行を務めているということだが、最近の事案多発の責任を問われて幕僚長更迭かなどと心配していたところだった。一昨日、ザルカウィ容疑者が死亡したニュースが大きく取り上げられたため、やや陰が薄れてしまったが、治安関係3閣僚の指名及び議会承認が済み、名実ともに正式政府が発足した。我が国にとってはこちらの方がビッグニュースであったと思う。アブダル・アルカディール・ジャシム (Abdul Al-Qadir Jassin) 新国防相は、スンニ派で政党には属さず、バスラ県のスンニ派に影響力を行使できるとしてバスラ県の治安改善にも期待がかかっている。バスラの治安悪化対応策は、既にマリキ首相の非常事態宣言に基づき、イラク警察による警備強化等の対策がとられている。また、南部4県で最も信頼性が低いと言われる警察力を補完するため、イラク第10師団は他県3個旅団から1個中隊ずつを抽出して、第1旅団を増援し、第1旅団の2個大隊と併せて3個大隊の勢力で任務にあっている。早速その効果が現れているのかどうかはわからないが、ここ数日バスラ県は比較的平穏である。バスラ基地に対する攻撃も18日間なく、静かな日々を送っている。(こういうことを書くですぐ攻撃されるので、敵もLO報告を読んでいるのかもしれないが・・・)
- 2 先日、小瀬隊長に訪問していただいたJHF指揮官の [] は、本日で任務を終え後任者と交代するそうである。昨日のうちに日本隊としての支援要望等について説明し、担当者からは概略の同意を得ていたの上、下番指揮官の申し送りに併せて情報を提供でき、隊長の訪問を含めてベストタイミングであったと思う。JHFは先月から27機のヘリを15機まで計画的に(1機は損耗)削減しており、その状況は隊長も直接ブリーフィングを聞かれて了解して頂いている。本今朝、次のJHF指揮官には紹介していただき、御挨拶もさせて頂いた。名前は、ちょっと早口であったことと、基本的に外国の方の名前を覚えることが苦手であるため、正確には把握できていない。後日、名簿が変更されたならば確認して報告する。

本日執筆 バスラ県を 帰って執筆

スミッティLO日々業務報告(6月10日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし: [] Threat Level []
2 特記事項	サマーウ市街西方(線路西道沿い)に於いて発見された不審物に関して重点的に情報収集を実施 (1) 情報要求対応等
3 本日の業務	サマーウ市街西方(線路西道沿い)に於いて発見された不審物情報、サマーウ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情報判断等 (2) 各種業務調整等 JS経路変更関連、明日以降の豪軍支援要請関連、COOPERATIVE ZONE MAP関連、豪軍要望事項関連、 兼支隊長・政策アドバイザー等キャンプスミッティ訪問関連等 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等参加 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし

クウェート分遣班業務報告		18. 6. 10
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： <input type="checkbox"/> 人員・武器等：異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告：所属人員24名、事故人員1名(サマーワ出張)、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候：晴れ <input type="checkbox"/> 気温：0700 33°C(38°C) 1100 46°C(63°C) ()は直射日光	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 立ち入り申請 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> 演習場調整会議	<input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援	
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> キャンパージニアにおける業務調整 <input type="checkbox"/> 物品管理 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> コンボイ準備及びナビスタ国境通過支援	<input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> 業者調整	
その他		
<input type="checkbox"/> サマーワ出張 1名		

クウェートLO日々業務報告(6月10日1900)	
区 分	内 容
警戒態勢等	警戒レベル 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」(N/C)
特記事項	なし
本日の業務	大 使 館
	1 連絡調整等 (1) 館内会議 高官来訪に関する情報提供 (2) 報道対応に関する調整等 2 情報収集 情報資料 3件
明日の予定	CFLCC
	連絡調整等
その他	なし